

平成28年5月18日

厚生労働省障害福祉課  
全国社会福祉協議会  
全国身体障害者施設協議会  
熊本県身体障害児者施設協議会  
熊本県障がい者支援課  
熊本市障害保健福祉課

御中

熊本県身体障害児者施設協議会  
会長 三浦 貴子  
(愛隣館)

## 熊本地震における支援等の状況報告について（17号）

5月15日～5月18日の報告をします。

支援協力者一福岡県慈久園：諸藤さん・城戸さん、菊池園：酒井さん・井上さん・月俣さん、長崎県島原療護センター：杉村さん、長崎リハビリテーション：岡部さん、大分県修光園：利光さん、騰々舎：石川さん、宮崎県清友の里：福塚さん・横山さん、しおみの里：松尾さん・小野さん、鹿児島県竹山苑：原田さん・堂園さん、太陽の里療護園：有村さん、ベトナム育英会：柏木さん、山鹿市ボランティア連絡協議会：本田さん・前畑さん・小松さん、山鹿市観光協会：川口さん・西本さん、地域ボランティア：松本さん。

物資等の受け取り

- ・沖縄中央療護園よりお菓子
- ・高森裕子様よりスープ

ご協力まことにありがとうございました。

### 【活動と現状について】

#### (1) 支援報告

- ① くまむた荘への人的支援は、福岡県、佐賀県、長崎県の各施設から1名～2名派遣継続中です。八代市内と施設近くの宿から通って頂いています。
- ② 熊本市東区身体障がい者能力開発センターには、現在も12人の福祉避難所利用者がおられます。5月9日より介護職員等派遣も1名ずつ受け、夜間支援等に大変助かっています。国・県・市からも状況を見に来られているとのことです。
- ③ 15日（日）午後、愛隣館へ益城町より被災された方1名入居（定員超過枠）の運びとなりました。震災13日後から入浴支援等を行ってきた方です。前日に県と相談支援専門員（県南）の訪問により、本人が希望されて急に決定。家が全壊という事情には、有期限（ショートステイや福祉避難所）のサービスでは対応できないので、入所の取り扱いと致しました。

他、期限を告げられてはいないのですが、2人の福祉避難所利用者、1人の震災によるショートステイ利用者が、いつまで滞在できるかとの不安があります。

#### (2) 会議・情報交換

- ① 16日（月）午後、東京での全国身体障害者施設協議会協議員総会へ、熊本金和協議員、金澤監事と共に出席し、全国からの心の入った迅速な支援に感謝を申し上げ、状況報告を致しました。震源域が100kmにおよぶ熊本地震で、広範囲に施設が被災したこと、生活の基盤である家が損壊して仕事を続けている職員の皆さんが多数おられ、危機が続いていることを伝えました。

- ② 17日（火）、県庁障がい者支援課を訪ね、お尋ねのあった、未だ制度化されていないが被災の状況下で制度化すべきと考えることを述べました。
- ・4月28日付事務連絡「平成28年熊本地震による介護職員等の派遣に係る費用の取り扱いについて」1—(1)—ア 人件費は派遣要請施設が超過人数分に対応した介護サービス費等から支払う、とされている件ですが、施設自体が半壊の状況では、定員を超過して新たな利用者を受け入れることが、危険性（余震等での倒壊）を考えると行えず、また、現利用者を使えなくなった一部の居室からホール等に施設内で避難させている状況があります。
- そして、震災からその利用者を夜勤も含め休まず支援しているのが、家が被災し、車中泊等を続けざるを得ない職員の人たちです。過重な負担は、長期化しています。しかし、損壊した施設では、定員を超過して受け入れることそのもののできないので、派遣の人件費を生み出す介護サービス費は入りません。被災職員の過重な負担軽減と離職防止の為に人的派遣は正に必要ですので、人件費について再考頂きたいと願います。
- ③ 県身障児者協の熊本市2施設より、損壊箇所の調査についてお困りの声が上がっています。記載すべき内容が細かく、また損壊箇所も相当に多いので、福祉施設職員では対応に困難を極めているそうです。また、余震で建物の亀裂も変化している状態があるので、専門業者を派遣するなど配慮願いたいとのこと。
- ④ 17日（火）身体障がい者能力開発センターと江津湖療育医療センターを訪問
- ⑤ 申し入れがあり、NPO法人み・らいずの栢谷さん、九州ネットワークフォーラムの水流さん方とミーティング。八代学園の古田さんが同行。知的障害者施設の状況、御船町等での活動について伺いました。

### (3) 被災地域支援

- ① 17日（火）温泉リフレッシュ支援事業に迎える予定の西原村を訪問。役場と社協を訪ねた後、利用予定者の方々のケアの必要度を把握する為、予定の避難所（約40名程）へ向かいました。ダンボールベッド利用の高齢者が多く、数人の方々と話をしました。
- ② 18日（水）西原村の高齢者（障がい者1人）グループと益城町女性グループの温泉リフレッシュ事業を行いました。双方共、当日人数が増えバスが満席となりました。要支援高齢者グループには、迎えるケア体制を厚くして対応でき、一方の元婦人会活動をされていた方々も車中が話し合える場となった様子です。心づくしの昼食と温泉を喜んでおられました。

状況報告16号別紙（被災施設の被害状況まとめ）に間違いがありました。くまむた荘・職員の状況において全壊11軒・半壊36軒は、半壊11軒・一部損壊36軒に訂正し、お詫び申し上げます。

（連絡先） 障害者支援施設愛隣館  
TEL：0968-43-2771  
FAX：0968-43-2793